

官民連携について

にぎわいと清瀬らしい魅力がある駅前空間の実現のためには、市をはじめとする行政と、市民、民間事業者などがお互いに連携・協働して取り組むことが必要です。
民間のまちに資する多様な取り組みを積極的に支援するため、官民連携を実現する仕組み（エリアプラットフォーム）づくりや施設整備について検討します。

官民連携3つのキーワード（ <https://www.mlit.go.jp/toshi/about> ）より

地域の課題を解決し発見する



北浜テラス（大阪市）
北浜水辺協議会

出典：<https://www.mlit.go.jp/toshi/about>

経済、社会、歴史、文化など様々な要素を読み解きながら、地域の課題を発見し、それぞれのエリアにあわせて解決するアプローチが求められています。

官民に関わらず、まちの空間資源を使いこなす



クッチーナ・ディ・トリヨン（北九州市）
北九州家守舎

出典：<https://www.mlit.go.jp/toshi/about>

時代の変化により遊休化・余剰化している空間資源を積極的に発掘し、地域と時代のニーズに対応したコンテンツ（機能）へと転換、再生、活用することが求められています。

人間中心の視点で居心地のよい環境を作る



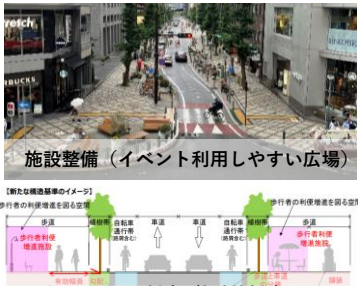
丸の内仲通り（東京都千代田区）

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
+ NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会

出典：<https://www.mlit.go.jp/toshi/about>

作り手ではなく使い手の視点で、人間の身体感覚にあった居心地よい環境をつくることが求められています。

官民連携まちづくり



ほこみち制度（規制緩和）

出典：
<https://www.mlit.go.jp/road/hokomichi/index.html>

エリアプラットフォームの活動支援



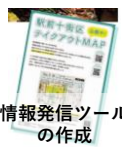
エリアプラットフォーム構築



にぎわい社会実験の実施



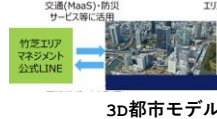
ワークショップの開催



情報発信ツールの作成



エリアビジョンの作成



3D都市モデルの活用

出典：
・まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム（国土交通省）
・3D都市モデル活用：
<https://www.mlit.go.jp/road/area-platform/001514503.pdf>

まちづくりの実践

官民連携の事例：あさかエリアデザイン会議

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場が、エリアプラットフォームです。

「エリアプラットフォーム」とは、おおむね以下の要件が揃った協議の場です



エリアに関わる様々な
仲間と集まり協議をする



まちづくりに関する実績を有する
専門人材からの支援を受けている



エリア価値の向上・将来像
の実現が目的



緩やかな協議の場
（プラットフォーム）

出典：まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム（国土交通省）

官民連携を推進する
ソフト施策の検討

活動内容：
まちなか実証実験イベントなど（まちなかのオープンスペースの活用や商業活性化関係）

『ASAKA STREET TERRACE（アサカストリートテラス）』

『居心地が良く歩きたくなるようなまちなか』と『魅力的な商業空間』をテーマに「あさかの日常を歩こう」をコンセプトに掲げ、エリアの未来の日常を思い描く大規模実証実験イベント



出典：<https://www.mlit.go.jp/toshi/machi/content/001398792.pdf>

『ASAKA MEETING（アサカミーティング）』

公共空間を利活用したいプレーヤーや、まちづくりに携わりたいプレーヤーを発掘し、あさかエリアデザイン会議の運営に関わる人材の充実を図るために開催しているトーク交流イベント

名称	あさかエリアデザイン会議
設立	令和4年4月1日
活動目的	朝霞駅周辺地区において、官と民が一体となり、ウォーカブルなまちなかの推進やにぎわい創出といったまちなかの魅力向上に関する事項を協議し、未来ビジョンの策定及びそれを実現する事業等の実施を通じて、当該地区の活性化と発展に寄与することを目的とする
構成員	朝霞市、NPO法人スマイルあさか、朝霞駅前商店会、コトノハコ、ダマヤ・カンパニー（株）、朝霞市自治会連合会、富士見町内会、埼玉縣信用金庫朝霞支店、本町商店会、朝霞市商工会、（公財）朝霞市文化・スポーツ振興公社 など 学識経験者・・・埼玉大学大学院 久保田教授、小嶋准教授 外部アドバイザー・・・（一社）ランドスコープアーキテクト連盟会長 戸田芳樹

清瀬駅周辺における官民連携の一例

協議会に出席している商店街や町内会などを中心にエリアプラットフォームを構築する。エリアプラットフォームには、駅を中心とした社会実験や商店街活性化に向けた空き店舗活用など、多様な活動に取り組む。市は、取組みに資する規制緩和や施設整備を行う。



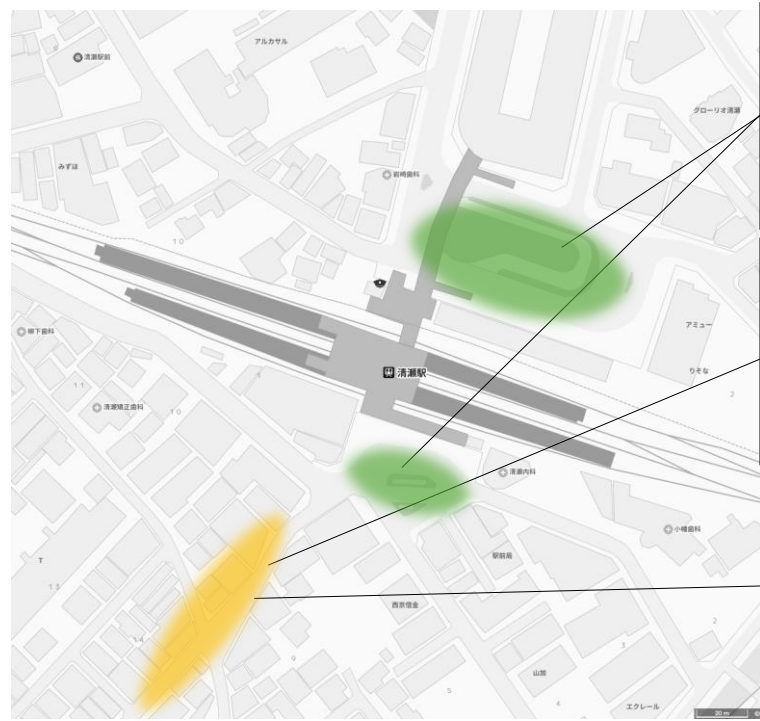
エリアプラットフォームの構築

市、商店街、町内会ほか、地元企業、清瀬での活動に関心があるNPO法人など



出典：まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム（国土交通省）

まちづくりの実践（例）



駅前広場を使ったにぎわい社会実験やイベントの開催

実施に向け市が支援できること：
・駅前広場で活用しやすくするための施設再整備（噴水跡地など）
・イベントやにぎわいに資する駅前広場整備計画

パークレット社会実験（広島市）



空き店舗の出店促進

商店街の空き店舗をリノベーションし、新たな店舗の出店促進や空き店舗の利活用を図ることで商店街を活性化

古い店舗のリノベーション（多治見市）



ストリートファニチャーの設置

狭小な公共スペースにストリートファニチャーを設置

今日省スペースの活用（吉祥寺）

出典：まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム（国土交通省）